

新型コロナウイルス感染症疑似症対応解除システムに関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2021年4月14日～2022年6月30日

〔研究課題〕

新型コロナウイルス感染症疑似症対応解除システムの構築

〔研究目的〕

新型コロナウイルス感染症の可能性がある場合、入院時に特別な感染対策を行います。しかし、特別対応を解除するための明確な基準がありませんので、この研究で検討してまいります。

〔研究意義〕

新型コロナウイルス感染症の可能性が低い患者さんに対して、迅速かつ安全に感染対策を解除するため基準を作ることで、必要な治療を迅速に受けることができ、院内クラスターの防止にもつながります。

〔対象・研究方法〕

2020年1月7日から2022年3月31日までに、新型コロナウイルス感染症を疑われて特別な感染対策を行った入院患者さんが対象です。患者さんの症状などの病歴、CT検査や遺伝子検査に関する結果の特徴、専門家による感染対策終了の妥当性を検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報はすべて匿名化後に解析されるため、漏れることはありません。研究成果から学会発表や学術論文作成を行う場合も、個人の特定が可能な情報は全て削除いたします。研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。研究で得られたデータは帝京大学医学部附属病院感染制御部で管理し、研究終了後は10年間保管後に廃棄します。

〔その他〕

通常診療の範囲内の調査ですので、患者さんへの謝礼金はありません。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 松永 直久(帝京大学医学部附属病院感染制御部 部長)

研究分担者: 竹澤 智湖(帝京大学医学部附属病院内科学講座 助教)

長瀬洋之(医学部内科学講座 教授)

北沢貴利(医学部内科学講座 病院教授)

神田潤(医学部救急医学講座 助手)

石垣しのぶ(医学部附属病院中央検査部 係長)

古川泰司(医学部臨床検査医学 教授、医学部附属病院中央検査部 部長)

近藤浩史(医学部放射線科学講座 教授)

大場洋(医学部放射線科学講座 主任教授)

坂本哲也(医学部救急医学講座 教授、医学部附属病院 病院長)

所属: 帝京大学医学部附属病院感染制御部

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 30657]